

最近の出来事から 税財政法特別講義『租税行政の実務～所得税の現場』

2013年11月14日、税財政法の講義において、金沢税務署副署長を講師としてお招きし、『租税行政の実務～所得税の現場』と題する特別講義を行いました。所得税は国税の中でも重要な税目であり、われわれにとっても身近な税金です。税財政法の講義でも、所得税法の理論を重点的に扱っています。寺西副署長は、所得税法の執行の実務に長く携わり、また最近まで税務大学校の教授をしておられたとのことで、特別講義は税に関する豆知識やジョークを交えながら終始なごやかに進みました。当初は「税務署＝コワモテ(?)」とやや緊張気味の受講生からも笑いが出るなど、普段とはまた違った雰囲気の中、税務調査の実際や、うどん・そば店を例とした推計課税の方法など、租税行政のリアルな一面に触れることができたのではないのでしょうか。受講生からは、「そば粉や小麦粉の重量から食数を計算する方法を実際にやってみて推計課税のイメージがつかめた」、「国税専門官はデスクワークが中心かと思っていたが、税務調査はなかなかハードな仕事だと思った」、「税法をより身近なものに感じる事ができた」などの感想が寄せられました。(平川英子)

